

南地域まちづくり

第49号

平成29年7月1日発行

かわら版

平成29年度も「安全で安心できる住みよい地域づくり」を目指し、地域の課題解決を進めます。

平成29年度第1回座談会を開催！

6月18日(日)、南地域座談会を開催しました。

理事とまちづくり委員が、各部会(防犯・交通安全、福祉・防災、広報)に分かれ、これまでの活動から見えてきた課題を確認し、魅力ある南地域にしていくため、今後、それぞれの部会で取り組む内容について、活発に意見交換しました。



■ 防犯・交通安全部会



- 休日のパトロールの実施や3地区の連携について、部会の中で検討していきたい。
- のぼり旗については、設置しやすい配慮が必要。設置させてもらえるところを確保することが重要で、駐車場へも設置するようにしていきたい。

■ 福祉・防支部会

- 南地域としては、当面、主に地震への備えに視点を置いて意見交換を進め、地域でできる『防災に関する事業』について検討を進める。
- 防災の備えから広がる日頃の見守り支え合い(福祉活動)につながるように、『近助』をキーワードに地域でできることを考えていく。



■ 広報部会



- もっと地域 の 話題 を 掲載 し、地域 密着 型 の 内容 に する。
- 地域 の 歴史 文化 遺産 の 紹介、地名 の 由来 など 郷土 史 を 伝 え て い く。

各 部 会 の メンバー を ご 紹 介 し ま す !

■ 防 犯 ・ 交 通 安 全 部 会

- | | | | | |
|-----------|-------------------|-------------|-------------------|---------|
| 【 部 会 長 】 | 山 田 泰 晴 (秋 田) | 【 副 部 会 長 】 | 丹 羽 金 利 (大 屋 敷) | |
| 【 部 会 員 】 | (秋 田) 加 藤 憲 司 | 佐 竹 重 夫 | 真 鍋 秀 紀 | 鈴 木 栄 次 |
| | | 舟 橋 新 介 | 佐 藤 真 由 香 | |
| | (豊 田) 大 森 明 輝 | 大 森 教 義 | 吉 村 定 夫 | 松 岡 秀 紀 |
| | | 社 本 悟 | 海 部 千 夏 | 加 納 裕 子 |
| | (大 屋 敷) 宮 地 幸 男 | 片 町 義 昭 | 丹 羽 隆 弘 | 小 原 好 章 |
| | | 宮 地 俊 美 | | |

■ 福 祉 ・ 防 災 部 会

- | | | | | |
|-----------|-------------------|-------------|-------------------|-----------|
| 【 部 会 長 】 | 井 上 正 直 (豊 田) | 【 副 部 会 長 】 | 丹 羽 良 一 (大 屋 敷) | |
| 【 部 会 員 】 | (秋 田) 野 崎 昌 彦 | 佐 藤 洋 治 | 平 林 淳 志 | 鈴 木 し づ 江 |
| | | 米 原 寛 | 河 内 伴 夫 | |
| | (豊 田) 社 本 一 裕 | 江 口 勇 雄 | 社 本 清 | 大 島 弘 幸 |
| | | 村 田 直 樹 | | |
| | (大 屋 敷) 萩 岡 大 輝 | 野 田 和 義 | 丹 羽 敏 男 | 野 田 肇 |
| | | 杉 本 智 | 宮 地 保 | |

■ 広 報 部 会

- | | | | |
|-----------|---------------------|-------------|---------------|
| 【 部 会 長 】 | 社 本 收 司 (豊 田) | 【 副 部 会 長 】 | 大 森 明 (豊 田) |
| 【 部 会 員 】 | (秋 田) 鈴 木 公 樹 | 鈴 木 敏 代 | |
| | (大 屋 敷) 伊 与 田 泰 司 | 富 田 祥 子 | |

座 談 会 で 出 し 合 っ た 意 見 を も と に、様 々 な 事 業 に 取 り 組 ん で い き ま す。部 会 活 動 を 充 実 さ せ る と と も に、南 地 域 自 治 組 織 の 基 盤 づ く り を 進 め て い き ま す の で、皆 さ ん の ご 協 力 を お 願 い し ま す。